

「在宅医療・介護連携に係るデータ分析結果 市町村報告会」アンケート回答結果

- 1 日時 平 30 年 7 月 3 日（火） 13:30～16:30
- 2 会場 千葉市民会館
千葉県千葉市中央区要町 1-1
- 3 主催 一般財団法人厚生労働統計協会
- 4 後援 千葉県、市原市
- 5 参加者数 千葉県 33 自治体職員及び関係者 総数 65 名
- 6 参加費 無料

◎アンケート回答者数 58 名（回答率 89.2%）

1. アンケート回答者について

(1) 性別

- ・男性・・・・・・・・ 23 名（39.6%）
- ・女性・・・・・・・・ 33 名（56.8%）
- ・無回答・・・・・・ 2 名（3.4%）

(2) 年齢

- ・10代・・・・・・・・ 1 名（1.7%）
- ・20代・・・・・・・・ 7 名（12.0%）
- ・30代・・・・・・・・ 11 名（18.9%）
- ・40代・・・・・・・・ 23 名（39.6%）
- ・50歳・・・・・・・・ 11 名（18.9%）
- ・60歳以上・・・・・ 3 名（5.1%）
- ・無回答・・・・・・ 2 名（3.4%）

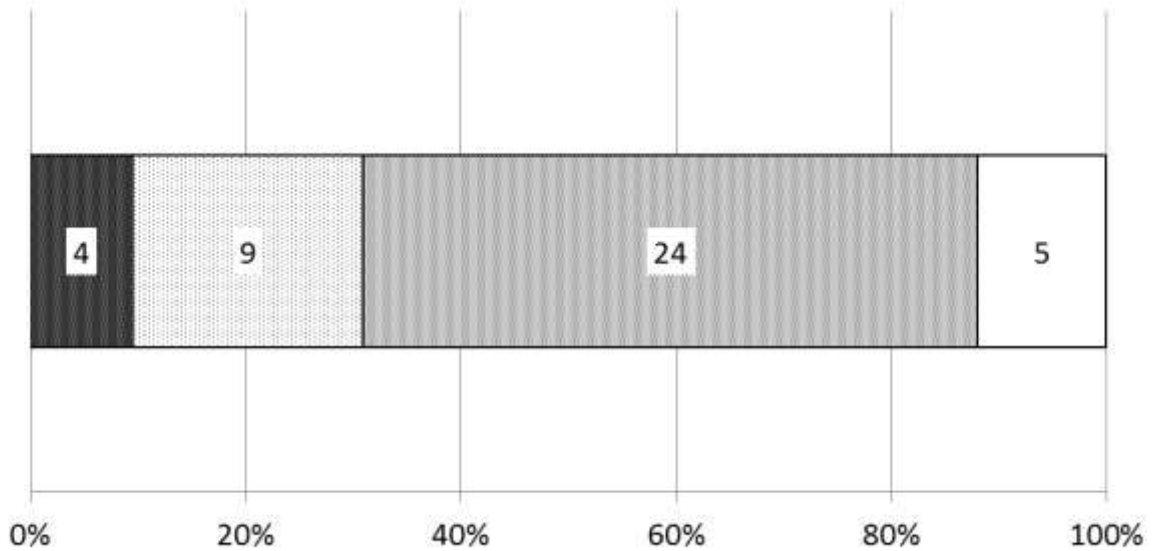
(3) 職業

- (1) 地方公共団体職員・・・・・・ 40 名（68.7%）
- (2) 医療・介護専門職・・・・・・ 9 名（15.5%）
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 名（12.0%）
- (4) 無回答・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 名（3.4%）

2. 在宅医療・介護連携に係るデータの状況

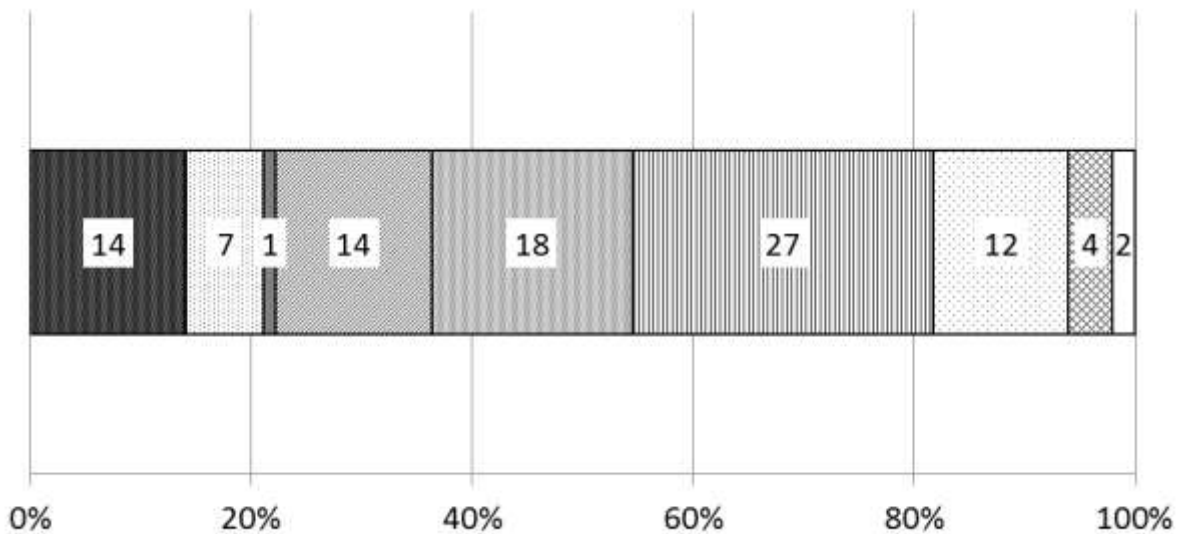
(1) 在宅医療・介護連携に係るデータの活用状況 (回答数 42名)

- ①現状のデータ活用で十分
- ②データ活用は行っている
- ③現状のデータ活用では不十分
- ④その他



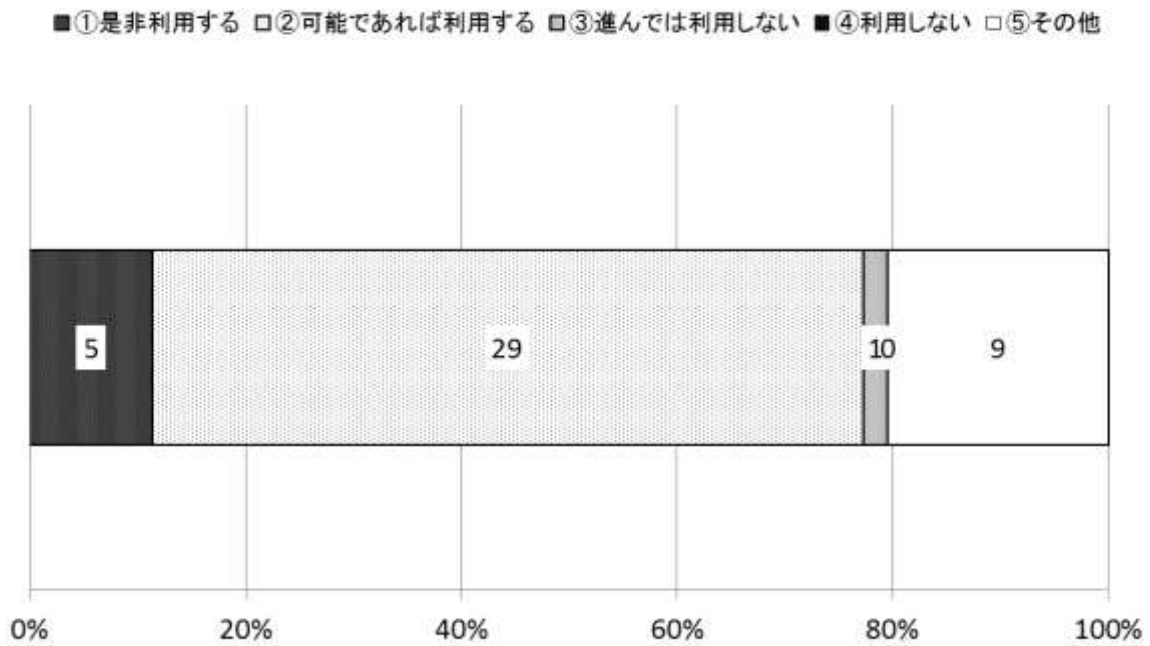
(2) データ活用を十分に行うために課題となっている項目 (複数回答)

- データの活用方法が分らない
- データ活用の効果が不明
- 費用に見合うと思わない
- どのようなデータを活用すべきかが分らない
- データの集計等の作業の予算確保が困難
- 多忙または、人員が少なく対応できていない
- データ活用方法の信頼できる相談先が無い
- データ分析に関する調査業務を行いたい
- その他

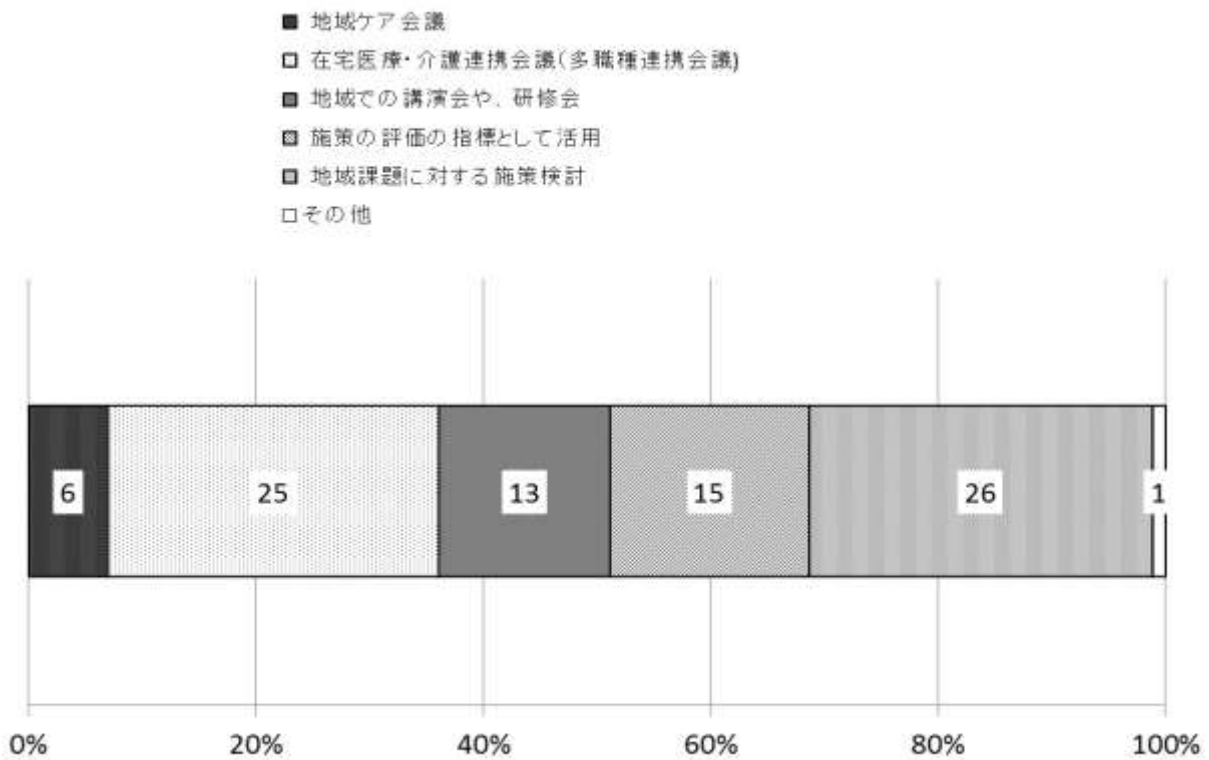


3. データ活用手順書の今後の利用について

(1) 今後の利用方針 (回答数 44名)



(2) 想定するデータ活用手順書の場面 (複数回答)



以上